

# 『高松市病院事業経営健全化計画（平成24年度～26年度）』の取組状況 に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書（案） 【平成24年度の評価】

平成25年11月 日  
高松市立病院を良くする会  
会長 谷 田 一 久

## 1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性および効率性の向上ならびに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画（以下「経営健全化計画」という。）」の策定、見直しおよび進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で3年目を迎える。

平成24年度の経営健全化計画の取組状況について、今年度2回（7月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめたので報告する。

## 2 評価結果の総括

平成24年3月に策定した経営健全化計画（24年度～26年度）においては、「生きる力を応援します」を市立病院の基本理念に定め、高松市民病院は、救急医療やがん医療などの提供による「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は、医療と福祉が一体となった「地域まるごと医療の実践」を、香川診療所は、「私のカルテ」の発行や健康教室の実施による「住民参加型医療の提供」を、基本的な考え方として病院運営に取り組むこととしている。

初年度となる24年度には、同計画に掲げる指標（数値目標）を達成するため、PDCAサイクルマネジメントの考えに基づき、7月末、12月末時点の2回にわたり、各病院・診療所において、具体的取組状況の調査や、それに対する自己評価を行うなど、計画実現に向けた取り組みが進められていると認める。

このような取組結果として、平成24年度の高松市民病院事業全体の経常収支は、平成17年度の近隣町との合併後、初の黒字となったことは評価できる。

## 3 評価結果

### (1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成24年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、または目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組みを進め、一定の成果が得られた、または計画期間内に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組みが不十分、または取組みを進めたものの、具体的成果が得られなかった。
×	かなり遅れている。	消極的または、目標達成のための取組みができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① 高松市民病院

経営健全化計画に係る取組状況については、20項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は1項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は7項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は8項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は2項目で、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で40%となった。

全体としては、目標達成項目がやや下回っているものの、「リーディングホスピタル」として、「7対1基準看護体制」の導入による医療の質の向上や、消防局救急隊員との意見交換会開催など、救急患者の積極的な受入れ、また、「地域医療連携だより」の隔月発刊や地域の医療機関への訪問、症例検討会の開催など、病診連携の推進による患者紹介率・逆紹介率の向上に取り組んでいること。さらには、給食調理業務の民間事業者への委託を開始するなど、効率的な医療の提供にも留意しており、こうした取組みの結果、13年ぶりの経常収支黒字を達成したことを評価し、全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	1項目	5%
評価結果『○』とした項目	7項目	35%
評価結果『△』とした項目	8項目	40%
評価結果『×』とした項目	2項目	10%
合計	20項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	取組項目(大分類)	取組項目(小分類)	総括評価
1 医療の質の確保	1 医療技術	1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○
		2 医師確保機能の強化	△
		3 医師の安定確保に向けた条件整備	△
		4 看護師, コメディカル職員等医療人材の確保機能の強化	×
		5 スペシャリストの育成	○
		6 医療安全	○
		7 医療品質	△
		8 災害医療	
		9 感染症医療	△
	2 人間関係	1 チーム医療体制の充実	
		2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	○
		3 患者と病院の信頼関係の構築	○
	3 アメニティ	1 患者の視点に立ったサービスの提供	△
		2 各種病院サービスにおける利便性の向上	×
		3 施設環境の整備	△
	4 地域社会	1 地域医療連携の強化	◎
	2 医療の透明性の確保	1 情報の積極的な発信	
		1 情報の積極的な発信	○
	3 医療の効率性の確保	1 効率化	
		1 効率化	○
2 管理体制			
1 管理体制		△	
3 一体化	1 一体化	△	

総合評価	
------	--

## ② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、16項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は6項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は6項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は3項目で、『順調である』『概ね順調である』と評価した割合が全体で76%となった。

限られた職員で取組む訪問看護・訪問リハ等の成果は想定以上で、また、栄養士による料理教室の開催や経営会議への地域住民の参加など、職員全員で地域を支える「地域まるごと医療」の実践に取り組まれていると評価し、総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

### 評価結果の内訳

#### ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	6項目	38%
評価結果『○』とした項目	6項目	38%
評価結果『△』とした項目	項目	0%
評価結果『×』とした項目	3項目	19%
合計	16項目	

### イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域医療の推進	◎
2 医師確保機能の強化	◎
3 医師の安定確保に向けた条件整備	◎
4 スペシャリストの育成	○
5 医療安全	◎
6 医療品質	○
7 災害医療	×
2 人間関係	
1 チーム医療体制の充実	○
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
3 患者と病院の信頼関係の構築	○
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○
2 施設環境の整備	×
4 地域社会	
1 共に支え合う体制の整備	○
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	×
2 管理体制	
1 管理体制	
3 一体化	
1 一体化	◎
総合評価	

### ③ 香川診療所

経営健全化計画に係る取組状況については、15項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は1項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は8項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は5項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は1項目で、『順調である』『概ね順調である』と評価した割合が全体で60%となった。

健康教室や出前講座の充実、「私のカルテ」の推進、わんコイン健診、経営会議への地域住民の参加など、住民参加型医療の実践に取り組まれており、全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

#### 評価結果の内訳

##### ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	1項目	7%
評価結果『○』とした項目	8項目	53%
評価結果『△』とした項目	5項目	33%
評価結果『×』とした項目	1項目	7%
合計	15項目	

#### イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	取組項目(大分類)	取組項目(小分類)	総括評価
1 医療の質の確保	1 医療技術	1 地域に密着した医療の提供	○
		2 医師確保機能の強化	△
		3 医師の安定確保に向けた条件整備	△
		4 医療安全	△
		5 医療品質	△
		6 災害医療	×
	2 人間関係	1 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	○
		2 患者と病院の信頼関係の構築	○
	3 アメニティ	1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎
	4 地域社会	1 住民参加の医療	○
		2 地域医療連携の強化	○
		3 子供たちの健やかな成長への貢献	○
	2 医療の透明性の確保	1 情報の積極的な発信	
		1 情報の積極的な発信	○
	3 医療の効率性の確保	1 効率化	
		1 効率化	○
		2 管理体制	
		1 管理体制	
	3 一体化	1 一体化	△
	総合評価		

# 総括評価

高松市病院事業経営健全化計画

(平成 24 年度実績)

高松市立病院を良くする会

【高松市民病院 編】

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等						
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)													
医療の質の確保														
医療技術														
1	高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	(1) 救急医療の強化	○救急車搬送受入件数	◎	○	救急車搬送受入の目標を達成できたのは、多職種間の協働の結果であり、入院率が高いことも踏まえ、評価したい。さらなる充実に向けて、引き続き努力されたい。外来化学療法利用患者の倍増はとも評価できる。今後は、がん相談件数の増加やがん患者との交流など、積極的に取り組まれたい。	○5 △3	●(1)については、救急搬送受入数を増加させるための対策が採られたこと、実際に受け入れ件数は増加したこと、さらには、入院率が高いことを高く評価した。 ●(1)救急車の受け入れは多職種協働が進まない限り困難であり、目標達成は高く評価できません。今後は、バックアップ体制等を取り、やむなく断るといふ事例を無くしていく努力をされることと思います。 (2)外来化学療法室利用者が倍増しているのは患者数増加の結果であるとするれば、大変大きな成果として評価できる。相談件数が増加することが期待できると思います。 ●救急体制を強化されたい。 がん相談がふえるよう工夫が必要。						
			○受入不可率	△										
			○救急認定看護師配置数	○										
		(2) がん診療機能の強化	ア 診療機能の強化	○										
			○がん化学療法認定看護師配置数	○										
			○外来化学療法室利用患者延数	○										
			○がん相談件数	×										
			○院内がん登録統計システムの作成および運用	×										
			イ 地域がん対策強化	△										
		○がん患者等との交流数	△											
		2	医師確保機能の強化	(1) 大学等への要請						○	△	結果的に医師数は増加したものの、医師公募のHPは掲載されているだけで、必ずしも活用されていないように見受けられることから、工夫されたい。医療を施す上で、人材確保は絶対条件であることから、積極的な取り組みを要する。	○1 △7	●医師数の増加を高く評価した。 ●HP上の公募ページを見たが、掲載されているに過ぎず、運用・活用しているように見受けられない。 ●人材確保は医療の絶対条件 ●結果を重視しました。
				(2) その他					ア インターネットを活用した医師の公募の継続	△				
イ 学校の先輩、後輩ほか、個人や知己等を活用した人材の確保	△													
3	医師の安定確保に向けた条件整備	(1) 医師研修プログラム等の充実	○臨床研修医受入数(基幹型)	△	△	様々な取り組みを通して、実質的な改善はなされていないように見受けられることから、成果として挙げられるよう着実な取り組みを要する。 また、医師事務作業補助者への研修は、業者にとどまらず、当該所管部署でも実施すれば、より一層の効果が得られる。実習生の受入体制として、担当者を同世代とすれば、学生側の安心も得られる。	○1 △5 ×2	●実質的な改善がなされていないものと評価した。 ●(2)補助者の研修は、業者だけでなく、所属部署(医局、診療部?)でも行うことで、質と継続性の保証が出来ると思う。 (6)見学・実習等の受け入れ担当者は年代の近い方がされると学生は安心するようです。						
			○臨床研修医受入数(協方型)	×										
			○指導医数	×										
		(2) 医師事務作業補助者の活用	○医師事務作業補助体制加算	△										
			○補助者に対する研修会の開催数	△										
		(3) 業務プロセスの見直し		△										
		(4) 女性医師確保に向けた勤務環境の整備		×										
		(5) 人事評価システムの構築		△										
		(6) 実習、見学等の受入体制の充実		○										
		(7) その他	ア 大学の臨床研修医を対象とした説明会への積極的な参加	○										
4	看護師、コメディカル職員等医療人材の確保機能の強化	(1) 看護師、コメディカル職員等の計画的な採用および離職防止対策	○看護師離職率	×	×	退職者について、組織内での位置づけや退職理由など、その原因の究明を行い、対応すべきである。 離職率の目標(3.5%以下)は、全国平均と比較して低いことから、再度検討してはどうか。	△2 ×6	●離職の原因究明や適切な離職率の検討がなされていないと思われるので低い評価とした。 ●離職率の目標は、全国平均程度にはいかげずか。また、退職する個人の組織での位置とか退職理由に注目する必要があります。						

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等	
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)								
医療の質の確保									
医療技術	5 スペシャリストの育成	(1) 資格取得	緩和ケア認定看護師	○	○	数値目標を立てて取り組んだ結果、成果が出ています。継続して取り組またい。	○7 △1	●数値目標を立てて取り組み成果が出ていると思います。◎でも良いと思います。	
			がん化学療法認定看護師	○					
			皮膚排泄ケア認定看護師	○					
			透析療法指導看護師	◎					
			消化器内視鏡技師	×					
			感染制御認定薬剤師	○					
			放射線治療専門放射線技師	○					
			超音波認定検査士	◎					
			認定微生物検査技師	○					
			細胞検査士	○					
			認定輸血検査技師	○					
			心臓リハビリ指導士	○					
			呼吸療法認定士	○					
			リンパドレナージ技師	○					
			病態栄養専門師	○					
			糖尿病療養指導士	△					
			ICLSインストラクター	◎					
JPTECインストラクター	×								
ISLSインストラクター	×								
医療安全	6 医療安全	(1) 医療安全体制の充実	○専従職員の配置数	○	○	研修への参加者が多く評価できることから、今後は、その成果として、業務に還元するような意識で取り組またい。 医療安全マニュアルや感染管理マニュアル等の改訂に、早急な取り組みを要する。	◎1 ○5 △2	●研修会参加者数は高く評価できるが、実行が伴っていないように思われる点は問題であると評価した。 ●(2)マニュアル改訂が急がれますが、そんなに困難なことではないと考えますがいかがでしょうか。 ●マニュアルの改訂・作成は急務である。	
		(2) 医療安全マニュアルの改訂		△					
		(3) 医療安全意識の共有	ア ヒヤリハット報告会	○ヒヤリハット報告会の開催数					○
			○参加者数						
		(4) 医療安全意識の醸成	ア 医療安全研修	○安全管理研修会(全体研修)の開催数					◎
			○受講者数						
(5) 感染管理体制の充実	○専従感染管理認定看護師の配置数	○							
(6) 感染管理マニュアルの改訂		△							

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)								
取組項目(小分類)								
医療の質の確保								
医療技術								
6 医療安全	(7) 感染管理意識の醸成	ア ICTラウンド	○	前ページ に記載			前ページ に記載	
		イ 感染管理研修等 ○感染管理研修会(全体研修)の開催数	◎					
	○受講者数	◎						
	○職員のインフルエンザワクチン予防接種 受診率	△						
	(7) 感染管理意識の醸成	○針刺事故件数	△					
7 医療品質	(1) 臨床指標(QI)の設定・公開		△	△	業務実績報告・目標発表会については、評価できる。全職員参加のもと、積極的に取り組まれた。		○2 △6	●(4)ウは全職員が取り組み、他項目の達成度を高める項目であると思います。
		(2) 病院機能評価の認定	○病院機能評価の認定					
	(3) 病院幹部によるラウンドの徹底		△					
	(4) 学会・勉強会・発表会等の開催	ア 学会における研究発表・論文発表 ○学会における研究発表・論文発表件数	○					
		イ 院内発表会 ○院内発表会の開催数	△					
		ウ 業務実績報告・目標発表会 ○業務実績報告・目標発表会の開催数	△					
		○参加者数						
	(5) 患者への働きかけ		○					
(6) クリニカルパスの拡充	○クリニカルパス新規開発件数	×						
	○クリニカルパス使用件数	△						
8 災害医療	(1) DMAT(災害派遣医療チーム)の整備	○DMATのチーム数	×	DMATの整備は、早急に行う必要がある。そのためには、県との連絡・調整が不可欠であることから、必要な対策を講ずること。		○3 △3 ×2	●(1)については、窓口担当が県と早急に連絡を取ること で前進すると思います。 ●災害はいつ発生するかわからないことから、DMATチーム 編成を早急に行う必要がある。	
		(2) 災害時医療マニュアルの作成	○災害時医療マニュアルの作成					◎
	(3) 業務継続計画の策定	○業務継続計画の策定	×					
9 感染症医療	(1) 感染症医療の充実		△	△	インフルエンザ予防接種受診率の目標達成に努められた。		△6 ×2	●インフルエンザ予防接種率が達成できていない点を低い評価とした。



具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)								
取組項目(小分類)								
医療の質の確保								
人間関係								
1 チーム医療体制の充 実	(1) チーム医療の実践	ア IGT(感染制御)	△	○		よく取り組んでいるが、一方では、職員の負担も大きいことから、管理者を含め幹部職員は、心身の管理について、十分に留意する必要がある。	○3 △4 ×1	●丁寧によく取り組んでいると思います。生き生きと取り組んでおられますか。リーダーはマンパワーを勘案して効率的に運営することが求められると思います。「忙しくて大変」と燃え尽きないことを管理者は常に注意することが大切だと思います。
		イ 糖尿病科メディカルチーム						
		ウ NST(栄養サポート)						
		エ 口腔ケアチーム						
		オ 排泄ケアチーム(認定)						
		カ RST(呼吸療法サポート)						
		キ 褥瘡対策チーム						
		ク 緩和ケアチーム						
		ケ ICLS(突然の心停止対策)チーム						
		コ 退院調整チーム						
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	(1) 指導や相談事業の拡充		○	○	数値目標を設定して取り組めば、その成果等が可視化され、より一層の効果が期待できる。	○8	●数値目標があればなおよいと思います。	
3 患者と病院の信頼関係の構築	(1) 「私のカルテ」の推進	○入院患者への発行数	◎	○	外来患者を含めた来院者全員に交付して、人を惹きつける病院になってほしい。退院調整会議については、効率的かつ効果的に開催できるようなフォーマットを検討してはどうか。	○4 △2 ×2	●「私のカルテ」はかねてよりの懸案事項である。 ●外来が目標どおり進めば、マグネット病院となることと思います。 (2)退院調整会議については、意識だけでなく他要因も検討が必要かも知れません。スムーズに効率的に効果的に開催できるフォーマットが必要かも知れません。 ●入院患者にとどまらず、来院者全てに発行・交付して、はじめて効果を発揮すると思う。	
		○外来患者への発行数	×					
		○入院患者への配布率	○					
		○外来患者への配布率	×					
		(2) 退院調整会議の充実	○退院調整した患者数					△
(3) インフォームドコンセントの徹底		△						
アメニティ								
1 患者の視点に立ったサービスの提供	(1) 患者満足度調査の実施		△	△	患者満足度および業務プロセスは、経営改善にとって、とても重要であるものの、取り組みは、全般的に低調であることから、改善を求めたい。 患者満足度調査は、調査日数の割に 対象母数が余りに少ないことから、何らかの改善を求めたい。 接遇研修は、成果として出にくいことから、引き続き取り組まれない。 また、病院にとっては、職員満足度も重要なデータであるが、それを把握するための仕組みが必要ではないか。	△8	●満足度調査は、日数と比較して 対象母数が余りに少ない。 ●全体としての取り組み行動に不満である。 ●アンケート回収率のデータがあるとよい。 (3)イについて、接遇研修は実施してもなかなか成果としては出ないことを意識しておきたい。 職員満足度の向上も大切なデータと思いますが、どこかで把握していらっしゃいますか。 ●最初の2項目が重要と思っています。	
		(2) 業務プロセスの見直し	ア 待ち時間の短縮 ○調査数					△
	(2) 業務プロセスの見直し	イ クレーム対応の充実 ○研修会の開催数	×					
		○受講者数	×					
		○クレーム率	×					
		(3) 接遇改善	ア 接遇アンケートの実施・意見箱の設置					○
			イ 接遇研修の実施 ○接遇研修会の開催数					◎
ウ 接遇チームの活動推進	○							

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
医療の質の確保								
アメニティ								
2	各種病院サービスに おける利便性の向上	(1) 病院サービスにおける利便性の向上	ア クレジットカード払いの導入	△	×	クレジットカードは、利用者の利便性向上を図る観点からも、早期に導入されたい。	△2 ×6	●(1)ア クレジットカードを導入しても未収金対策にはならないと言う方もいます。期待が出来ないかもしれません。しかし、利用者の利便性ではよいと思います。 ●クレジットカード払いや、駐車場の運用などは、来客者目線で考えれば、早急に改善すべきところがある。
			イ 市民病院ループバス	×				
			ウ 自家用車(駐車場の運用)	×				
3	施設環境の整備	(1) 院内誘導表示の改修		△	△	早急に取り組まれたたい。	△5 ×3	●早急にすぐにはできないことではないでしょうか。
地域社会								
1	地域医療連携の強化	(1) 症例検討会の開催	○症例検討会の開催数	◎	◎	地域医療支援病院の指定という目的について、職員が共通認識をもって、引き続いて根気強く取り組む必要がある。	◎7 ○1	●必要性を意識して根気強い取り組みが求められます。
			○参加者数	○				
		(2) 重点エリアの連携体制の強化	○地域医療機関への訪問数	○				
		(3) 知人・病院OB医師等との連携強化	○知人・病院OB医師等への訪問数	◎				
		(4) 患者の転院先との連携強化	○患者の転院先の訪問数	◎				
		(5) 退院・転院の連絡の徹底による連携強化	○退院・転院連絡率	◎				
		(6) 初診連絡の徹底による連携強化	○返書率	◎				
		(7) 地域連携クリティカルパスの積極的な活用	○地域連携クリティカルパスの活用件数	◎				
	○シームレスケア(継ぎ目のない医療支援)研修への参加者数	◎						
医療の透明性の確保								
情報の積極的な発信								
1	情報の積極的な発信	(1) 臨床指標(QI)の設定・公開(再掲):《市民》	医療技術 7 (1) と同じ (P7上段)		○	住民参加会議には、住民の参画も促すよう取り組まれたたい。 市民公開講座・出前講座および院内健康教室については、テーマ等が十分に知られていないことから、広報・周知活動に取り組むよう求める。	○5 △3	●(1)と同じ扱いとしました。 (7)は元副院長は住民ではなく職員の視点が強いと思いません。住民を入れていただきたいです。但し、会議名は何ですか。 (8)1回当たりのテーマはいくつですか。テーマ数が多いですが。 ●住民参加会議を開催されたい。 出前講座の一覧表を公開・周知されたい。
		(2) 病院機能評価の認定(再掲):《市民》	医療技術 7 (2) と同じ (P7上段)					
		(3) 医療事故等の公表		○				
		(4) 高松市立病院を良くする会の開催	○高松市立病院を良くする会の開催数	△				
		(5) 「私のカルテ」の推進(再掲)	人間関係 3 (1) と同じ (P9下段)					
		(6) 病院事業経営内容の公開		○				
		(7) 住民参加会議の開催	○住民参加会議の開催数	×				
		(8) 市民公開講座・出前講座および院内健康教室の開催		○				
		(9) 病院広報の拡充		○				

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
医療の効率性の確保								
効率化								
1 効率化	(1) 内部留保資金の確保			○	○	全般的に取り組み効果への検証が十分ではない。 地域連携・機能分担による病院の実情に応じた新規患者の受入については、リアルタイムで対応可能な体制の構築を検討された。 効率的なシステムの構築と業務等の品質管理については、取り組み内容が具体性を欠いており、わかりづらい。 ジェネリック医薬品の採用は、薬剤局がリーダーシップを発揮して、早急に進める必要がある。 未収金対策は、患者間の不平等を解消する観点からも、積極的に取り組み、未収金の解消に努めてほしい。	○5 △3	●効率化は効果との関係で評価されるべきであるが、効果についての検証がなされていないと思われる。 ●(1)内部留保資金とは何でしょうか。 (3)については日々リアルタイムで確認できる体制を取っていただきたい。 (4)については具体的な取り組み意図が見えない。 (5)はシステムとして対応しているか。 (8)薬剤師によるリーダーシップで早急に進めていただきたい。 (9)については、当然の義務を果たさない市民に対する対応を早く立てていただきたいと一市民として思う。
	(2) 施設基準の取得			○				
	(3) 地域連携・機能分担による病院の実情に応じた新規患者の受入	ア 病床の一元管理の推進《市民》 イ 平均在院日数と病床利用率の適正管理《市民》		○				
	(4) 効率的なシステムの構築と業務等の品質管理			×				
	(5) 診療報酬請求漏れの防止			○				
	(6) 使用料・手数料設定の見直し			○				
	(7) 一般会計繰入金の定期的な見直しと公表			○				
	(8) ジェネリック医薬品(後発医薬品)の採用拡大			△				
	(9) 未収金の発生防止と回収促進	ア 概算預り制度等の検討 イ 法的手段の実施		△ ×				
	(10) 業務改善の手段としての情報化の促進《市民・香川》			○				
管理体制								
1 管理体制	(1) 全部適用による効果の最大限の発揮	○高松市立病院の医療の確保と健全化をすすめる会開催数		△	△	今回ののはじめての外部評価を踏まえ、総括意見はもとより、各委員意見等も参考にして、必要な修正・改善等に組み込まれたい。	△8	(4)●具体的には解らないので自己評価に従った。十分でない外部評価を活用する意味は何ですか。
	(2) 経営戦略会議の充実			△				
	(3) 経営分析の実施	ア DPC分析の拡充《市民》 イ 民間コンサルティング会社の活用		△ △				
	(4) 目標設定とPDCAサイクルによる進行管理の推進			△				
体化								
1 一体化	(1) 市立病院間の診療面の連携・協調			○	△		○3 △5	
	(2) 資産等購入における共同化の拡充等	ア 医療機器の共同利用の推進 ○医療機器の共同利用 イ 薬品、診療材料の変更統一 ○診療材料の変更統一 ウ 物品の効率的な調達 ○物品の効率的な調達		△ △ ○				

# 総括評価

高松市病院事業経営健全化計画

(平成 24 年度実績)

高松市立病院を良くする会

【塩江分院 編】

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等	
取組項目(大分類)									
取組項目(小分類)									
医療の質の確保									
医療技術									
1 地域医療の推進	(1) 訪問事業の推進	○訪問診療件数	○	◎	職員数が少ないにもかかわらず、訪問看護・訪問リハ等の成果は想定以上で、評価できる。今後もこれを継続するために、歯科衛生士やリハビリテーション職員の確保には積極的に取り組まれない。	◎5 ○3		●全体として、訪問看護、訪問リハ、研修会の成果は想定以上であったことを高く評価した。 ●少ない人数で頑張っていると思います。 ●歯科衛生士およびリハビリテーション職員の確保は特に積極的に取り組まれない。	
		○訪問歯科件数	×						
○訪問看護件数		◎							
○訪問リハビリテーション件数		◎							
※「オープンナース」認定取得									
	(2) 初期、亜急性期、慢性期医療の提供	○研修会の開催数	◎						
		○研修会参加者数	◎						
2 医師確保機能の強化	(1) 大学等への要請		◎	◎		◎5 ○3			
	(2) その他		◎						
3 医師の安定確保に向けた条件整備	(1) 業務プロセスの見直し	○事務補助件数	◎	◎		◎7 ○1			
4 スペシャリストの育成	(1) 資格取得	認知症ケア専門士	○	○	高齢者等が多い地域であることを踏まえ、呼吸療法認定士の資格取得のために周辺環境整備の検討など、計画実現のための積極的な取り組みを求める。	○7 △1		●呼吸療法認定士は、高齢者が多く寝たきりの人が多いので取得を目指していただきたい。 消化器内視鏡技師については高松市民病院で資格を取ってどうかの方法はいいがですか。 ●呼吸療法認定士の資格取得は中止したようであるが、それで良いのか。	
		呼吸療法認定士	×						
		消化器内視鏡技師	△						
		介護支援専門員	◎						
		福祉住環境コーディネーター	◎						
5 医療安全	(1) 医療安全体制の充実	○医療安全委員会の開催数	◎	◎	インフルエンザ予防接種受診率の目標達成に努められたい。	◎5 ○3		●インフルエンザワクチン接種が計画未達という点を低く評価した。	
		○医療安全委員会のラウンド数	○						
	(2) 医療安全マニュアルの改訂		◎						
	(3) 医療安全意識の共有	ア ヒヤリハット報告会							◎
		○ヒヤリハット報告会の開催数							
		○参加者数							
	(4) 医療安全意識の醸成	ア 医療安全研修							◎
		○安全管理研修会(全体研修)の開催数							
		○受講者数							
		イ 患者や家族等への啓発							◎
		○被説明者数							
	(5) 感染管理体制の充実	○感染予防委員会の開催数							◎
○感染予防委員会のラウンド数									
(6) 感染管理マニュアルの改訂			◎						

良くする会 総括評価  
塩江分院

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)	医療の質の確保							
取組項目(小分類)								
医療の質の確保								
医療技術								
5 医療安全	(7) 感染管理意識の醸成	○感染管理研修会(全体研修)の開催数	◎	前ページ に記載			前ページ に記載	
		○受講者数	△					
		○職員のインフルエンザワクチン予防接種 受診率	×					
6 医療品質	(1) 病院幹部によるラウンドの 徹底	○ラウンド回数	△	○	ラウンドの趣旨・意義等について、協議を行 い、幹部職員の認識を共有した上で、意識 を高める必要がある。		◎1 ○5 △2	●ラウンドの必要性の意識が低下していることは、再度 検討の必要があると思います。
	(2) 学会・勉強会・発表会等の 開催	ア 学会・勉強会・発表会の開催 ○学会における研究発表件数	◎					
		イ 勉強会・発表会(院内) ○勉強会・発表会の開催数	◎					
		○参加者数						
		ウ 業務実績報告・目標発表会 ○業務実績報告・目標発表会の開催数	○					
		○参加者数						
7 災害医療	(1) 災害時医療マニュアルの作 成	○災害時医療マニュアルの作成	×	×	山間部特有の災害発生が懸念されることか ら、それに沿ったマニュアル作成を早急に着 手すべきであり、緊急性を要する。		×8	●山間部独特の災害発生が危惧されます。 ●緊急性を要する改善点である。 ●地域の実情にあったマニュアルが必要
		○業務継続計画の策定	×					
人間関係								
1 チーム医療体制の充 実	(1) チーム医療の実践	ア NST(栄養サポートチーム) イ 口腔ケア・摂食訓練チーム ウ 褥瘡対策チーム	○	○	塩江分院の特色であり、今後も継続して、積 極的に取り組まれない。		○8	●この分野は、塩江分院の特色であることから、頑張って取り 組まれない。
2 患者のQOLを高める ための各職種による 指導・活動の推進	(1) 指導や相談事業の拡充		◎	◎			◎7 ○1	
3 患者と病院の信頼関 係の構築	(1) 「私のカルテ」の推進	○発行累計数	△	○			○8	
	(2) 退院調整会議の充実	○退院調整した患者率	◎					
	(3) インフォームドコンセントの 徹底		○					
アメニティ								
1 患者の視点に立った サービスの提供	(1) 患者満足度調査の実施		◎	○	今後も工夫を重ねて取り組まれない。		◎2 ○6	●今後もいろいろと工夫をしていただきたい。 ●(1)患者満足度調査は、高松市民病院と同じものを使っ ているのですか。
	(2) 治療効果と満足度の高い 食事の提供	○栄養指導件数	○					
		○病棟訪問件数	◎					
		○行事食提供回数	○					

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
医療の質の確保								
アメニティ								
1 患者の視点に立ったサービスの提供	(3) 接遇改善	ア 意見箱の設置		△	前ページに記載		前ページに記載	
		イ 接遇研修の実施 ○接遇研修会の開催数 ○受講者数		◎				
(4) 患者輸送車運行事業の推進		○患者輸送車運行利用者数		△				
2 施設環境の整備	(1) ユニバーサルデザイン化等の推進			×	×		△1 ×7	
地域社会								
1 共に支え合う体制の整備	(1) 病院・介護保険施設等との連携	○幹部職員による訪問数		△	○	幹部職員の病院訪問、および地域社会との連携を図ろうとする姿勢は評価できる。今後は、ボランティアの協力がより得られるよう取り組まれたい。	◎1 ○5 △2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幹部職員の行動評価に重きを置いた。</li> <li>●ほのぼのとした関係作りが見えるようです。</li> <li>●ボランティア人数が少ないのではないか。</li> </ul>
		人間関係 3 (1) と同じ(P4中段)		/				
		○経営戦略会議への参加者数		◎				
		○地域イベントへの職員ボランティアの参加者数		◎				
		○ボランティア人数		○				
	○作品数		◎					
医療の透明性の確保								
情報の積極的な発信								
1 情報の積極的な発信	(1) 臨床指標(QI)の設定・公開(再掲) (市民)				情報発信に当たっては、コミュニティを活用し、取り組まれたい。		◎4 ○3 △1	●情報発信に当たっては、こじんまりしたコミュニティの良さを生かされたい。
		(2) 病院機能評価の認定(再掲) (市民)						
		(3) 医療事故等の公表	市民病院編 (P12下段)					
		(4) 高松市立病院を良くなる会の開催	○高松市立病院を良くなる会の開催数 市民病院編 (P12下段)					
		(5) 「私のカルテ」の推進(再掲)	人間関係 3 (1) と同じ(P4中段)					
		(6) 病院事業経営内容の公開	市民病院編 (P13上段)					
		(7) 住民参加会議の開催	○住民参加会議の開催数	◎				
		(8) 市民公開講座・出前講座および院内健康教室の開催	市民病院編 (P13中段)					
		(9) 病院広報の拡充	市民病院編 (P13中段)					

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)								
取組項目(小分類)								
医療の効率性の確保								
効率化								
1 効率化		(1) 内部留保資金の確保	市民病院編 (P13下段)					
		(2) 施設基準の取得	市民病院編 (P13下段)					
		(3) 地域連携・機能分担による 病院の実情に応じた新規患者の 受入	ア 病床の一元管理の推進(市民) イ 平均在院日数と病床利用率の適正管 理(市民)					
		(4) 効率的なシステムの構築と 業務等の品質管理		△	x	●健全経営を実現するためには、必要不可欠であることから、積極的に取り組まれた い。	△2 x6	●健全経営のためには、大切なことである。
		(5) 診療報酬請求漏れの防止		x				
		(6) 使用料・手数料設定の見直し	市民病院編 (P14中段)					
		(7) 一般会計繰入金の定期的 な見直しと公表	市民病院編 (P14中段)					
		(8) ジェネリック医薬品(後発医 薬品)の採用拡大	市民病院編 (P14下段)					
		(9) 未収金の発生防止と回収 促進	ア 概算預り制度等の検討 市民病院編 (P14下段) イ 法的手段の実施 市民病院編 (P 14下段)					
		(10) 業務改善の手段としての 情報化の促進(市民・香川)						
管理体制								
1 管理体制		(1) 全部適用による効果の最大 の発揮	○高松市立病院の医療の確保と健全化を すすめる会の開催数 市民病院編 (P15 上段)					
		(2) 経営戦略会議の充実	市民病院編 (P15中段)					
		(3) 経営分析の実施	ア DPC分析の拡充(市民) イ 民間コンサルティング会社の活用 市 民病院編 (P15中段)					
		(4) 目標設定とPDCAサイクル による進行管理の推進	市民病院編 (P15下段)					
一体化								
1 一体化		(1) 市立病院間の診療面の運 携・協調		◎	◎		◎5 ◎3	
		(2) 資産等購入における共同 化の拡充等	ア 医療機器の共同利用の推進 市民病 院編 (P16上段) ○医療機器の共同利用 イ 薬品、診療材料の変更統一 市民病 院編 (P16中段) ○診療材料の変更統一 ウ 物品の効率的な調達 市民病院編 (P16下段) ○物品の効率的な調達					



# 総括評価

高松市病院事業経営健全化計画

(平成 24 年度実績)

高松市立病院を良くする会

【香川診療所 編】

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)	取組項目(小分類)							
医療の質の確保								
医療安全								
1 地域に密着した 医療の提供	(1) 総合診療の取り組みと高齢 者医療の充実	○眼科手術件数	○	○	「高齢者医療の充実」方策として、より具体的 な課題を設定すべきである。 わんコイン健診は、ユニークな取り組みであり 評価できるが、赤字にならないよう経営面 からの視点も必要である。	○8	●対象患者は各科(除小児科)とも高齢者が多いと思われる だけに、「高齢者医療の充実」はもっと具体的な課題を設定し てはどうか。 ●黒字で経営出来ているのですか。 ●わんコイン健診は、ユニークな取り組みである。	
	(2) 小児医療の充実		○					
	(3) 予防医療の推進	○特定健康診査等の受入件数	○					
2 医師確保機能の強化	(1) 大学等への要請		△	△	引き続き医師確保に努められたい。	△6 ×2	●引き続き医師の確保につとめていただきたい。	
	(2) その他		×					
3 医師の安定確保に向 けた条件整備	(1) 業務プロセスの見直し		△	△	担当診療科以外の勉強会の開催を評価す る。	○1 △6 ×1	●担当診療科以外の勉強会の開催を高く評価した。	
4 医療安全	(1) 医療安全体制の充実		△	△	研修会、勉強会など、個々人のキャリアアッ プは、各自での研鑽を促す一方、安全や感 染に関する必須事項は、原則として全員参 加とし、特に院内で開催する際は、出欠をと るなど徹底すべきである。	△8	●研修会、勉強会は、個々人のキャリアアップにつながるもの は、各自で研鑽するよう努めることとし、安全や感染に関する ことで必須事項は全員参加を原則とし、院内のものは出欠を とるなど徹底すべき。	
	(2) 医療安全マニュアルの改訂		△					
	(3) 医療安全意識の共有		△					
	(4) 医療安全意識の醸成		△					
	(5) 感染管理体制の充実		△					
	(6) 感染管理マニュアルの改訂		×					
	(7) 感染管理意識の醸成	○職員のインフルエンザワクチン予防接種 受診率 ○針刺事故件数	○ ○					
5 医療品質	(1) 学会や研修会への参加		○	△	成果・結果を明らかにした目標と取り組みの 設定、および、それらから導かれた課題が 明らかでない」と評価は困難である。	△5 ×3	●outputが明らかとなるような目標と取り組みの設定、その結 果から導かれた課題が明らかでない」と評価は困難。	
	(2) 業務実績報告・目標発表会		×					
	(3) 診療所幹部によるラウンド の徹底		×					
6 災害医療	(1) 災害時医療マニュアルの作 成	○災害時医療マニュアルの作成	×	×	地域の実情にあったマニュアル作成を早急 に着手すべきであり、緊急性を要する。	×8	●早急に着手すべきである。 ●緊急性を要する改善点である。 ●地域の実情にあったマニュアルが必要。	
	(2) 業務継続計画の策定	○業務継続計画の策定	×					
人間関係								
1 患者のQOLを高める ための各職種による 指導・活動の推進	(1) 指導や相談事業の拡充		○	○		○8		
2 患者と診療所の信頼 関係の構築	(1) 「私のカルテ」の推進	○発行累計数	○	○	私のカルテ発行実績を高く評価した。	◎1 ○7	●私のカルテ発行実績を高く評価した。	
		○活用率	○					
	(2) インフォームドコンセントの 徹底		○					

具体的施策				自己評価	総括評価	総括意見等	各委員評価	各委員意見等
取組項目(大分類)		取組項目における具体的な実施内容	取組内容【H24年度実績】(H23:実績→H24:計画目標値)					
取組項目(小分類)								
医療の質の確保								
アスターティ								
1 患者の視点に立ったサービスの提供		(1) 患者満足度調査の実施		◎	◎		◎6 ○2	
		(2) 接客改善やクレーム対応の充実		◎				
地域社会								
1 住民参加の医療		(1) 健康教室の開催等	○健康教室や出張講座	○	○	地域との良好な関係を構築しており、一定の評価ができる。	◎2 ○6	●地域との良好な関係が伺える。
		(2) 「私のカルテ」の推進(再掲)	人間関係 2 (1) と同じ(本ページ中段)					
2 地域医療連携の強化		(1) 近隣医療機関や市民病院等との連携		○	○		◎1 ○7	
3 子どもたちの健やかな成長への貢献		(1) 学校医としての活動		○	○		◎2 ○6	
医療の透明性の確保								
情報の積極的な発信								
1 情報の積極的な発信		(1) 臨床指標(QI)の設定・公開(再掲)：(市民)			○		◎1 ○7	
		(2) 病院機能評価の認定(再掲)：(市民)						
		(3) 医療事故等の公表		◎				
		(4) 高松市立病院を良くする会の開催	○高松市立病院を良くする会の開催数 市民病院編 (P11下段)					
		(5) 「私のカルテ」の推進(再掲)	人間関係 2 (1) と同じ (P3中段)					
		(6) 病院事業経営内容の公開	市民病院編 (P13上段)					
		(7) 住民参加会議の開催	○住民参加会議の開催数	○				
		(8) 市民公開講座・出前講座および院内健康教室の開催		○				
		(9) 病院広報の拡充	市民病院編 (P13中段)					
医療の効率性の確保								
効率化								
1 効率化		(1) 内部留保資金の確保	市民病院編 (P13下段)		○		○6 △2	
		(2) 施設基準の取得	市民病院編 (P13下段)					
		(3) 地域連携・機能分担による病院の実情に応じた新規患者の受入	ア 病床の一元管理の推進：(市民) イ 平均在院日数と病床利用率の適正管理(市民)					
		(4) 効率的なシステムの構築と業務等の品質管理		○				
		(5) 診療報酬請求漏れの防止	市民病院編 (P14中段)					

具体的施策		取組項目における 具体的な実施内容	取組内容 【H24年度実績】 (H23:実績→H24:計画目標値)	自己 評価	総括 評価	総括意見等	各委員 評価	各委員意見等
取組項目(大分類)								
取組項目(小分類)								
医療の効率性の確保								
効率化								
1 効率化	(6) 使用料・手数料設定の見直し	市民病院編 (P14中段)			前ページ に記載		前ページ に記載	
	(7) 一般会計繰入金の定期的な見直しと公表	市民病院編 (P14中段)						
	(8) ジェネリック医薬品(後発医薬品)の採用拡大	市民病院編 (P14下段)						
	(9) 未収金の発生防止と回収促進	ア 概算預り制度等の検討 イ 法的手段の実施		△ △				
	(10) 業務改善の手段としての情報化の促進(市民・香川)			◎				
管理体制								
1 管理体制	(1) 全部適用による効果の最大限の発揮	○高松市立病院の医療の確保と健全化をすすめる会開催数 市民病院編 (P15上段)						
	(2) 経営戦略会議の充実	市民病院編 (P15中段)						
	(3) 経営分析の実施	ア DPC分析の拡充(市民) イ 民間コンサルティング会社の活用 市民病院編 (P15中段)						
	(4) 目標設定とPDCAサイクルによる進行管理の推進	市民病院編 (P15下段)						
一体化								
1 一体化	(1) 市立病院間の診療面の連携・協調			△	△	応援体制の更なる充実・整備を要し、連携・協調を図るべきである。	△8	●応援体制の整備が大切。
	(2) 資産等購入における共同化の拡充等	ア 医療機器の共同利用の推進 市民病院編 (P16上段) ○医療機器の共同利用 イ 薬品、診療材料の変更統一 市民病院編 (P16中段) ○診療材料の変更統一 ウ 物品の効率的な調達 市民病院編 (P16下段) ○物品の効率的な調達						